

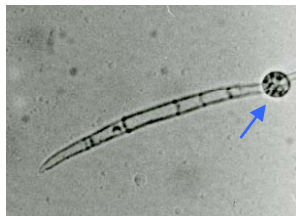
平成23年度病害虫発生予報第6号(9月予報)

〈お知らせ〉平成23年度病害虫発生予察技術情報第3～6号を発表しました。
平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

つる割病 (ニガウリ)

学名 : *Fusarium oxysporum*



生態と被害

本病は結実が始まる頃から症状が現れ始める。初め株の片側の茎葉が萎れ、葉では脈の黄化がみられる。地際部近くの茎の導管は褐変しており、茎表面に茶色の条斑が見られることもある。最終的には株全体が萎れ枯死に至る。病原菌は土壤中で厚壁孢子の形で長期間生存する。土壤伝染や種子伝染を行い、土壤伝染の場合は根から菌が侵入し、導管内を菌が進行する。本菌は厚壁孢子のほかに、小型分生子や大型分生子を形成する。小型分生子は無色単胞で楕円形ないし長楕円形、大型分生子は無色三日月型で1～5隔壁(3隔壁優勢)を有する。ウリ類のつる割病菌はいくつかの分化型に分かれており、本菌はニガウリのほかにユウガオにも病原性を示すがキュウリやスイカ、ヘチマ等には示さない。カボチャ(品種:新土佐)台木を使用することで本病を防ぐことができる。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年9月1日
沖縄県病害虫防除技術センター